

「営農情報メール」配信中!

登録無料!!

作柄情報 病害虫対策 青果物概況 イベント案内 など

◆ご登録は、右記のQRコードまたはJA山武郡市のホームページから! (スマートフォンもしくはパソコンのメールアドレスをご登録ください。)

◎JA山武郡市の組合員なら、どなたでも登録できます!!



農業 テクニカルダイアリー

Agricultural-work technical diary



トウモロコシ

グリーンプラザ 営農指導員 古谷 公一



夏ネギ

やさいの里営農センター 営農指導員 中村 克己



表① トウモロコシの施肥例 (10アール当たり)

肥量名	成分	施肥量	
元肥	粒状セルカ	アルカリ分47%	100kg
	マルチサポート2号	総合微量元素	60kg
	苦土重焼燐	0-35-0	40kg
	とうもろこし専用	14-10-10	160kg
	L型ジシアン588※	15-8-8	150kg
追肥	NKグリーン30	16-0-14	20kg(トンネル除去時)
			20kg(雄穂開花初期)

※基本は「とうもろこし専用」を施用し、リン酸・加里が過剰な圃場で推奨

施肥設計は、表①を参考にしてください。pHが低いと短幹となり、収量減少につながるため、作付け前には、土壌診断をおすすめします。

発芽を揃えるポイント
マルチは早めに(播種3日前まで)展開し、地温・土壌水分を保持しましょう。播種は地温が十分に確保(13℃以上)されてから行います。好天が3~5日間続くと予想されたときが播種のベストタイミングです。日

近年、ハクビシンやアライグマなどによる獣害(写真③)が多発しています。廃果実、家庭ごみなどは農地に放置せず、適切に処分しましょう。近くに雑木林や耕作放棄地がある圃場や幹線道路から離れた圃場では、獣害の発生が懸念されます。

獣害対策について

追肥は、トンネル除去時に1回目、雄穂開花初期に2回目を行います。絹糸抽出後の追肥は効果が期待できません。

トンネル被覆後の管理
播種後、速やかにトンネル被覆し、発芽まで密封します。発芽後はトンネル内の温度が35℃以上にならないように換気をします。トンネル内の最高気温は30℃を目標にしましょう。新品の被覆資材を使用するときは温度が上がりやすいので、特に注意が必要です。生育に応じて換気穴を増やしていきます。

照射時間が少なく、発芽日数が長くなると腐敗の原因になります。播種穴は深さ1寸(人差し指の第一関節)を基準として、土壌の水分状態で調整してください。多湿時はやや浅めに、乾燥時はやや深めに播種します。播種時の土壌水分は、土を軽く握って崩れない程度が最適です。

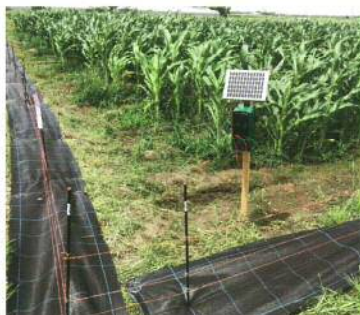
対策として、電気柵の使用も効果的です(写真④)。収穫直前の設置でも効果がありますので、有効に活用しましょう。

1月の分析経過について

残留農薬分析点数	多成分一斉分析	合計1点
		葉玉ネギ 1点

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 合計26点



写真④ トウモロコシ畑に設置した電気柵



写真③ 獣害を受けたトウモロコシ

写真② 小型トンネル換気方法



2月上旬



3月中旬

写真① 大型トンネル換気方法



2月下旬~3月上旬



3月中旬



被覆除去時から即効性のある追肥(高度化成S842)を1回当たり20~30kg施用し、倒伏しないように土寄せを行います。2回目は14日後を目安とし、その後は太りを見ながら7~10日ごとに土寄せを行ってください。止め土から収穫までの日数は、5月どりで20~25日間、6月・7月どりで14~20日

追肥・土寄せ

ら、被覆を除去するイメージです。

病害虫防除

トンネル除去後は、気温の上昇と追肥に伴い病害虫が多発しますので、収穫終了まで発生前の防除を心掛けましょう。白絹病・萎凋病も毎年発生していますので、対策が必須です。